

第 1 号議案

令和 4 年度事業報告承認の件

令和 4 年 4 月 1 日から同 5 年 3 月 31 日まで

1 本部

(1) 理事会・評議員会

- ① 5 月 25 日 (水) 13:30~15:30 令和 4 年度 第 1 回理事会
(出席：理事 15 人中 11 人、監事 2 人中 2 人)
- ② 6 月 15 日 (水) 11:00~12:30 令和 4 年度 定時評議員会
(出席：評議員 6 人中 5 人 関係理事 3 名)
- ③ 6 月 15 日 (水) 13:00~14:00 令和 4 年度 第 2 回理事会
(出席：理事 17 人中 14 人、監事 2 人中 2 人)
- ④ 11 月 9 日(水) 13:30~15:20 令和 4 年度 第 3 回理事会
(出席：理事総数 15 人中 12 人、監事 2 人中 2 人出席)
- ⑤ 11 月 24 日(木) 13:30~15:20 令和 4 年度臨時評議員会
(出席：評議員 5 人中 5 人： 関係理事 3 名)
- ⑥ 3 月 10 日(金) 令和 5 年度事業計画・予算承認 みなし理事会
(理事・監事全員賛成)
- ⑦ 3 月 20 日(月) 令和 5 年度事業計画・予算承認 みなし評議員会
(評議員全員賛成)

(2) 第 1 回理事会、定時評議員会共通の議題

- ① 令和 3 年度事業報告承認の件
(公 1)：奨学育英 (体育の補導、表彰)
(公 2)：人物博物館 (秋山兄弟生誕地)
(公 3)：青少年育英のための学生寮 (常盤学舎)
- ② 令和 3 年度決算報告承認の件 監査報告付き
- ③ 令和 4 年度事業計画承認の件
- ④ 常勤役員、常勤職員の報酬の件

(3) 第 1 回理事会専決の議題—5/25

- ① 令和 4 年度-7 年度 評議員候補者の件
・再任 4 人 新任 1 人 退任 2 人
- ② 令和 4 年度-5 年度 理事候補推薦の件
・再任 15 人 新任 2 人

(4) 定時評議員会専決の議題—6/15

- ① 令和 4 年度-7 年度 評議員選任の件 (並びに役員退任の報告)
(再任) 村上慎吾 岸新 田坂信一 村田裕司
(新任) 二宮 義晴
(評議員退任) 竹田祥一 (87 歳) 中田博雄 (86 歳)

② 令和4年度-5年度 理事選任の件

(再任) 山崎 薫、 古野一幸、 橘 莊二、 村田 健、 白石 崇
重松益見、 久保素子、 杉野康平、 多賀秀夫、 赤松民康、
藤島寛昌、 平松龍一、 大政憲司、 濱田初幸、 遠藤敏朗

(新任) 松田俊一、 山内孝洋

(5) 第2回理事会専決の議題—6/15

① 令和4年度-5年度代表理事(理事長)の選任

代表理事(再任) 山崎 薫

② 業務執行理事の承認

常務理事(事務局長) 橘莊二、 常務理事(会計担当) 古野一幸

(6) 定時評議員会・第2回理事会共通の議題—6/15

- その他(一)秋山兄弟生誕地の研究員等(ボランティアスタッフ)後継者の育成について
- その他(二)常盤学舎庭の高木伐採について

(7) 第3回理事会 11/9・臨時評議員会 11/24 共通の議題

① 令和4年度上半期事業活動報告承認の件

② 令和4年度上半期決算報告承認の件

③ 令和4年度下半期事業計画(案)承認の件

本部(常盤同郷会の公益事業への寄付金・喜捨の受入れの件他)
公1(柔道部、合気道部、表彰)対策の件
公2(秋山兄弟生誕地)対策の件
公3(常盤学舎)の件ほか

④ 令和4年度下半期収支予算(案)承認の件

(8) 第3回理事会専決の議題

- ① 令和4年度-7年度評議員(新任)候補者推薦の件
新任候補者1人

(9) 臨時評議員会専決の議題

- ① 令和4年度-7年度評議員(新任)選任の件
(新任) 竹田 進一郎

——以上の理事会、評議員会の議案は、審議の上、すべて原案どおり満場一致で承認された。

- (10) コロナ禍の影響軽減のため「経産省中小法人個人事業者事業復活支援金」に申請：100万円受領
給付対象の「2021年11月～2022年3月のいずれかの月の売上が2018年11月～2021年3月の任意の同じ月の50%以下に落ち込んだ事業者」に当たるため、5月に申請した。
6月に支援金100万円の給付が認可され、同月受領した。

(11) 公益法人法に基づく諸届け

- 6月29日 県教委－内閣府へ「令和3年度事業報告等」を提出
- 7月14日 県教委－内閣府へ 役員に関する「変更の届け出」提出
評議員：退任2人、 再任4人・新任1人・ 一計5人に
理事：再任15人・新任2人 一計17人に
- 12月21日 県教委－内閣府へ「役員に関する「変更の届け出」提出
評議員：新任1人 一計6人に
- 3月26日 県教委－内閣府へ「令和5年度事業計画等」を提出

(12) ホームページによる公益事業の公開と宣伝

- ① (検索) 秋山兄弟生誕地HPで(公財)常盤同郷会の組織運営に関する情報公開と、
(公1)(公2)(公3)事業を宣伝
- ② 新規形式のHPに切替え
 - 現在のHPは、15年前に初めて設定したものであり、情報更新の際は、事務局で原稿作成し、そのアップロードは外部の専門家(個人)との契約に依り、相応の費用(例年の合計額13万余円)を支払って実施してきた。
—本年度4月末までの累計ヒット数：358,495回 (昨年度8405回/年、23回/日)
 - 新式のHPに切替える理由 — 1)経費節減 2)事務局で原稿をアップロードし易い
3)利用者が多いスマホ画面で見やすい 4)セキュリティー保持 5)事務の簡素化
 - 採用したHP形式— CPIサーバー(KDDIウェブコミュニケーションズのサービスブランド)での「WordPress」に切替える。現在、その新規内容を構成中。

(13) 常盤同郷会の公益事業への寄付金・喜捨の受入れ

- ① 目標：税額控除対象法人となるため、昨年度より5年間の年平均11件・30万円以上
- ② 昨年度」寄付金6件・喜捨 総計1,118,532円
- ③ 本年度 寄付金11件・喜捨 総計 323,016円 —令和4年度会計 [大街道] [学舎]の項
 - ・秋山兄弟生家内 喜捨箱 9.26 開錠 56,211円
 - 3.20 開錠 93,805円
 - ・4.18 YY様(東京都) 20,000円
 - ・11.10 TM様(松山市) 3,000円
 - ・11.11 TK様(東京都) 6,000円
 - ・12.22 KS様(新潟県) 2,000円
 - ・1.11 AK様(東京都) 50,000円
 - ・1.11 (一財)豫山会様(東京都) 10,000円
 - ・1.11 TY様(松山市) 10,000円
 - ・3.21 AY様(東京都) 30,000円
 - ・3.21 伊豫賣茶流天山会様(松山) 12,000円
 - ・3.30 YY様(東京都) 20,000円
 - ・3.31 TK様(東京都) 10,000円
- ④ 寄付金募集の文書作成

—別紙1

2 公益事業1(公1) 奨学育英(体育の補導:柔道・合気道)

(1) 柔道部(常盤同郷会柔道部)

① 部員合計 33人

- 総師範兼部長: 濱田初幸八段
- 指導者: 小川晃宏、百田原純、藤田真也、山口真司、菅成徳、廣盛 賢、
以上各有段者7人
- 青少年部員21 (高校生1、中学生8、小学生12)
- 一般部員 5

② 稽古——規約に準ずる取決めを改定し、稽古の時間を20分前後延長

- 日曜 17:00~18:45
- 月・水・土 19:00~20:20

③ 柔道部指導者会-6/4

- 稽古時間の取決め改訂、近所への挨拶等の事

④ 令和4年度参加行事

- 5/22 愛媛県少年柔道錬成大会
- 7/31 八西柔道大会
- 8/21 中予地区少年柔道錬成大会
- 10/30(日) 愛媛スポーツレクリエーション祭2022 柔道競技(愛媛県武道館)
(西村悠聖 73kg 県3位)
- 12/4(土) あいテレビ杯 愛媛県女子柔道体重別選手権大会
- 12/26(月) 柔道部稽古納め
- 1/8(日) 柔道部稽古始め
- 2/11(土) 愛媛県少年柔道錬成大会(団体)
- 2/12(日) 愛媛県中学生新人選抜体重別柔道大会
- 3/19(日) 瀬戸内少年柔道大会(羽鳥匡悟 小学2年 県無差別級3位)

⑤ 技能向上の奨励

- ・ 部員の昇段試験 11月 小出(初段)
- ・ 指導者資格の取得 11/26 廣盛 百田

⑥ カンボジア柔道ナショナルチームに対する国際貢献

1) 10/22~2023.5月 濱田初幸師範がカンボジア国 ナショナルチーム監督に就任

カンボジア政府 SEA Games 組織委員会・同国柔道連盟・JICA・国際協力機構より濱田師範へ依頼——
プノンペン ナショナルトレーニングセンターでカンボジア国 柔道調査及び指導——同国で開催される第
32回 SEA Games(Southeast Asian Games / 東南アジア競技大会 2023.5/5~5/17)での選手強化のため

2) 12/22~3/10 上記カンボジア柔道ナショナルチーム(7人)の松山合宿に協力

(11.21にカンボジア政府 SEA Games 組織委員会委員長宛てに、小川郷太郎元カンボジア大使の斡旋で
常盤同郷会理事長より歓迎の招聘状)

○ 常盤同郷会道場を主な稽古場所として市内高校柔道場と並んで協力(宿泊は市内のホテル)

- ・ 週5日前後 AM10:00-12:00 常盤同郷会道場にて柔道研修 (午後は主に市内高校柔道場)
- ・ 柔道部の定期的稽古日 PM18:30-20:30等に、常盤同郷会柔道部員と一緒に稽古
- ・ 早朝の東雲神社階段トレーニングに、柔道部指導者等も共に参加

- ・2.5(日) カンボジアチームのアシスタントコーチ中村美里選手による技術指導
市内小中高大の柔道部員も共に参加
- 3) 1.5～1.25 カンボジアに滞在練習中のウクライナ選手2人も上記松山合宿に合流
(12.28 上記斡旋にて在カンボジア日本国大使あて常盤同郷会より歓迎の書状)
- 4) 1.9 秋山好古生誕164年祭にカンボジア選手7人、ウクライナ選手2人も参加(別項記)

⑦ 冬季ジェットヒーターの試験運用

——厳しい寒気の時の柔道受傷事故防止のためと、
急速暖房による常盤道場(重要木造建築)の劣化防止の両立

- 1) 9.30 柔道部からの要望により、同郷会本部との間で、上記目的両立のため検討した結果
使用条件を申合せ取り決め—R4年11月の役員会議案「下半期事業計画」の中で報告
- 2) 12.25～2.28 上記使用条件を遵守しながら試験運転。
寒気厳しい折、ヒーター「弱」で10分の運転で室温3℃上昇
- 3) 結果
 - 稽古開始直後の足の痛みが緩和された。道場天井湾曲部の波うち箇所がやや増加傾向。
 - 3.12 上記取決めの際、この冬季の試験により定めるとしていた、ヒーター使用可能な
室温の付記は6℃以下とする事に合意。

(2) 合気道部(秋山兄弟合気道道場)

① 部員合計 44人

- 師範 石崎俊郎七段(指導者)
- 指導者: 大谷師津男、古谷綱義 橘莊二、玉川幾朗^{のりお} 山内隆志
以上各有段者6人
- 少年部員 25(高校生2、中学6、小学生17)
- 一般部員 19

② 稽古

- 少年部 土曜 17:00～18:30
- 一般部 火・金 19:00～21:00

③ 合気道少年部指導者会-4/23

- 稽古時間の取決め改訂等

④ 令和4年度参加行事

- 5/8 愛媛県合気道連盟総会(コミセン)
- 7/16 愛媛県武道館での親子武道教室
- 10/15, 16 地域社会武道指導者研修
- 11/5 武道体験フェスタ(愛媛県武道館)
——指導者として大谷師津男、山内隆志 玉川幾朗 橘莊二が参加
- 12/24 少年部: 稽古納め 1/7(土)稽古始め
- 12/27 一般部: 稽古納め 1/6(金)稽古始め
- 2/12 愛媛県合気道連盟演武大会

(3) 秋山好古生誕祭での柔道部・合気道部合同稽古初め奉納——1/9

- ① 柔道 カンボジアナショナルチーム代表選手「^{きめ}極の形^{がた}」演武 一小中学生見学
ソクチャ (21歳) パユ (21歳)
- ② 合気道 東雲小学生ほか小中学生 12人演武

(4) 新型コロナ感染防止対策

- ① 日本柔道連盟並びに合気会の指示に添い検温他対策をとりつつ稽古を実施
 - ② 感染事例の発生と対応
- 柔道
- ・ 4.25 (月) 小4女子発熱陽性 部員の濃厚接触者2名 (7日間 自宅待機)
→稽古休止——5.2 (月) 稽古再開 (但し柔道衣を着ずトレーニングとシャドー柔道)
 - ・ 8.24 (水) 部員である親子のなかで父が陽性
ラインで連絡: 8.22 (月) の稽古中の濃厚接触者: →異常なし
→8.24 稽古休止——9.11 (日) 稽古再開
 - ・ 11.22 (火) 指導者1名がコロナ感染 (ラインで連絡: 他者への感染なし)
→11.23 (水) 稽古休止——11.28 (月) 稽古再開 (待機指導者以外)
- 合気道
- ・ 9.23 (金=稽古前日) 小1男子発熱、陽性の欠席連絡 (濃厚接触者なし、他部員異常なし)
→9.24 (土) 稽古休止——10.1 (土) 稽古再開

(5) 道場利用:

- ① 愛媛インターハイ柔道出場校からの希望により、試合前の稽古の場を提供
 - ・ 8/5 埼玉栄高校柔道部男子 18人 (各校とも午前中2時間前後)
 - ・ 8/6 前橋商業高校柔道部男子 4人
 - ・ 8/7 横須賀学院柔道部女子 7人 ・ 前橋育英高校柔道部女子 7人

(6) 道場及び設備の保全

- 7/10 道場大型扇風機2台 柔道部員保護者 T氏寄付
(既存2台と合わせて4隅に1台ずつ4台となる)
- 8/15 冷蔵冷凍庫(更衣室に据付) 34,000円 ヤマダ電機(問屋町)
・旧冷蔵庫 廃棄 フロンガス処理 2,187円

(7) 常盤同郷会賞の授与

- ① 中予地区高等学校 30校に対し、社会貢献活動と学業共に熱心に取組んだ生徒を卒業時に表彰するため、12月24日付で推薦依頼。
推薦のあった27校の29名に常盤同郷会賞(賞状と記念盾)を発送。
それぞれ、各校長より卒業式に際し授与された。 —別紙2 常盤同郷会賞受賞者一覧
- ② 常盤同郷会賞受賞者の秋山兄弟生誕祭式典での記念スピーチ
 - 1/10 秋山好古生誕 164年祭式典 常盤同郷会賞過年度受賞者スピーチ
令和3年度 松山南高等学校卒: 現大学1年生 大西 七緒
 - 3/21 秋山眞之生誕 155年祭式典 常盤同郷会賞当年受賞者スピーチ
令和4年度 松山盲学校卒 玉井 咲哉

3、公益事業（公2）：人物博物館(秋山兄弟生誕地)

(1) 令和4年度入館者

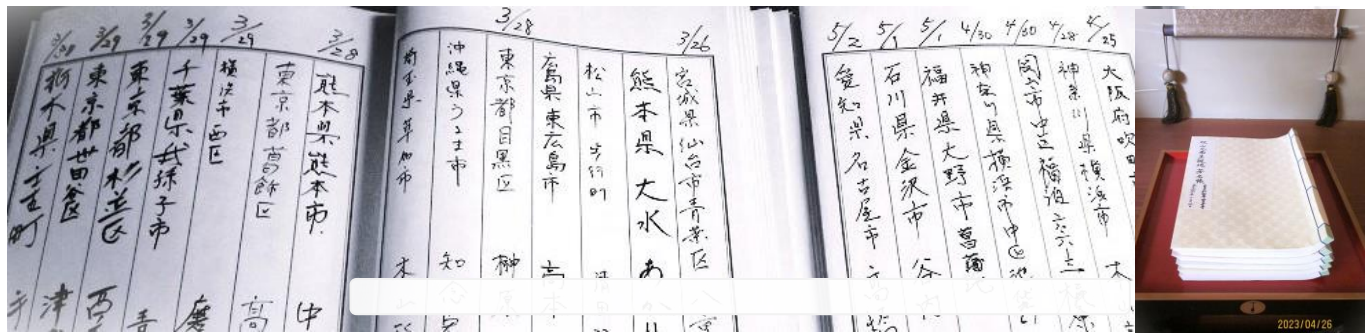
○ 開館日数 312日 (昨年 290日—緊急事態宣言下休館：5/11~5/31)
 臨時休館—9.19 (台風接近のため)

○ 総入館者 7939人 (前年比 151.4% / 5242人)	・ 有料入館者 5202人 (前年比 190%/2738人)	・ 個人(300円) 4313人
		・ 個人割引(250円) 734人
		・ 団体割引(250円) 67人
		・ 後払い (250円/クーポン) 88人
	・ (無料) 青少年 1426人 (前年比 90% / 1584人)	
	・ (無料) その他 1311人 (前年比 142.5%/ 920人)	

○ 1日当り 24人 (昨年度: 18人 ← R2: 14人 ← R1: 35人)

○ 令和4年度来訪時の「芳名帳」記帳者— 県別数等一覧
 (全 739名 = 来訪者の約1割)

	四国				九州				中国				近畿				中部				関東				東北・北海道		外国																						
人数	66	26	5	3	3	7	4	0	2	0	6	27	8	24	6	1	0	45	13	10	40	2	4	2	25	1	12	7	5	3	2	0	4	82	150	40	36	10	7	2	1	6	1	5	0	2	14	9	1
都道府県	愛媛	香川	徳島	高知	沖縄	鹿児島	熊本	宮崎	長崎	佐賀	大分	福岡	山口	広島	岡山	鳥根	鳥取	大阪	京都	奈良	兵庫	和歌山	滋賀	三重	愛知	岐阜	静岡	長野	山梨	福井	石川	富山	新潟	神奈川	東京	埼玉	千葉	茨城	栃木	群馬	福島	岩手	宮城	山形	秋田	青森	北海道	在留邦人	台湾



(↑令和5年3月) ……床の間に奉納の芳名帳より …… (↑令和4年4月)

(2) コロナ禍の感染防止対策と来訪者の現況

① コロナ禍に伴う入場者の増減 (過去4年一各月別)

月別入場者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
R4年度	167	1665	387	428	557	354	719	750	467	529	737	877	7939
R3年度	173	74	542	303	216	228	605	771	403	258	618	1051	5,242
R2年度	65	42	123	286	361	410	422	759	326	149	538	518	3,999
R1年度	1356	1834	560	780	947	791	868	1027	647	778	1015	468	11,071
(H30年度)												1629	13,203
R4/ R1年度比	12%	90%	69%	54%	58%	44%	82%	73%	72%	82%	72%	187%	71%

② 受付案内者の限定一状況に合わせて

1) 常務理事等2名のみで一午前(山崎)・午後(橘)

4.1———7.15 (この間、下記の日を除いてボランティア研究員当番休止)

2) 火から金は常務理事等2名、土日祝日はボランティア研究員当番で

4.29—5.5 (GW)、6.4—6.12、7.16———3.31

③ With コロナの案内方法

コロナ第6波中の令和4年2月以降、比較的重症化傾向がない状況で、感染対策をした上での学校(学年全クラス・修学旅行自主研修班)や団体での来訪も増加した。社会活動と感染対策の両立・定着のためにも、あらためて蜜を避け、以下のように対応した。

1) 感染防止のため次の対応を油断せず継続する。

○消毒薬設置、来訪者・案内者共にマスク着用(第1波の令和2年1/30以来)

2) 室内での案内を控え、風通しよく庭で案内。そのガイドの時間も4分の1に。

3) 対応の変更事項

○「来訪者名・連絡先カード」の記入を停止

(—第2波の令和2.7.31開始～第4波後の令和3.6.20停止)

上記2)によって案内者と来訪者間は、濃厚接触者にならないようにしているため

○体温計設置の停止 —令和2年11/7開始～令和4.6.20停止)

(3) 来訪者の内訳・特色

① 青少年のうち 学校研修等

学校種別	人数	学 校
小学校	321人	6/15 徳島 生光学園小5年 32人
		11/17 松山市立興居島小 7人
		2/21 松山市立東雲小(全校縦割り遠足) 201人
		3/3 松山市立新玉小6年 81人

中学校	215 人	<p>5/13 京都府舞鶴市立 城南中学 3 年 6 人 (1 日目：バスで淡路島ー吉野川ラフティングー2 日目：松山市内<u>ロゲイニング</u> <u>で生誕地を選んだ班が来訪</u>ーしまなみ街道ー広島、3 日目：宮島)</p> <p>6/ 9 広島県廿日市市立 野坂中学 2 年 4 人</p> <p>6/28 広島市立 伴(とも)中学 3 年 修学旅行班 13 人 (1 日目：高速船で松山着ー県文拠点のロゲイニング(生誕地に 3 班が来訪 2 日目：竜馬記念館ーカツオ薫焼たたき昼食ー高知城など)</p> <p>7/ 7 岡山市立 高島中学修学旅行、班別で 36 人</p> <p>10.27 松山市立東中学 1 年(松山めぐり) 班別 20 人</p> <p>11/11 松山市立勝山中 1 年 (ふるさと勝山めぐり) 112 人</p> <p>12/ 1 広島県竹原市立竹原中学 13 人</p> <p>3/30 高知県土佐女子中学高等学校 11 人</p>
高等学校	533 人	<p>5/26 松山東高 明教探究フィールドワーク 1 年全 360 人</p> <p>5/30 開成高校、修学旅行自主研修班 4 人</p> <p>5/31～6/14 の 3 日間 松山商業高流通経済科 2 年 3 人実習 のべ 9 人</p> <p>8/ 6 前橋商業高校柔道部男子(愛媛インターハイ) 4 人</p> <p>8/ 7 横須賀学院柔道部女子 (") 7 人</p> <p>6/7・7/5・9/6・10/4 の 4 日間 松山商業高地域ビジ 初科 3 人実習 (前期) のべ 12 人</p> <p>10/25・11/15・1/17・2/14 の 4 日間 松山商業高地域ビジ 初科 3 人実習 (後期) のべ 12 人</p> <p>10/20 松山北高 1 年総合探究 (城山回廊) 49 人</p> <p>11/22 静岡県浜松学芸高校 32 人</p> <p>12/ 7 神奈川県立相模原中等教育学校 6 年 8 人</p>
大 学 (院)	8 人	<p>6/15 人間環境大学 1 年 (沖縄、愛媛、高知出身) 6 人</p> <p>8/25 愛媛大社会共創学部 1 年 (北高郷土研究部出身) 2 人</p>

② 大人の団体・グループ

4/23 (土)	鮎川義塾 (昨年 3 人が下見に) 30 人ずつ 2 班に分かれて	63 人
5/ 9 (月)	ネットトヨタ瀬戸内(株)より新入社員研修に。	16 人
9/24 (土)	坂雲ミュージアム・コンソーシアム明治 主催「正岡子規祭一のぼさんぽ」一行 (吟行：城山～秋山兄弟生誕地～坂雲ミュージアム)	35 人
10/8 (土)	産経ツアーズ	39 人
2/19 (火)	松山地区『歩こう会』	44 人

③ 個人来訪者の特色

A○ 会社・官庁・学会での出張や、イベント等での来県を機に

- 9/25 (日) 再生医療の研究提携のため、退職後に入った会社から出張で、愛大医学部に来ているという熟年男性。山中先生の研究の広がり、耳鼻咽喉科関係の再生医療。今の会社は創業120年、「愛媛の方と良い仕事ができたらいいなと思います」と。
- 11/ 4 (火) ビデオの後、「この常盤学舎は昔からここにあったのですか」と尋ねる中年男性は東久留米の隣町にお住まい。自分の自転車を携え、往路は広島空港で降り、サッカーJ1を観戦。その機に、以前読んだ「坂の上の雲」の地へと、しまなみ海道(伯方島泊…大島亀老山展望台)をサイクルで渡り来る。帰路は夕方、松山空港から。
- 11/27 (日) 好古の展示写真に「貫禄ありますねえ…」という60代の風格ある男性。北海道でビートとカボチャ(粉にする)を作っている農家。開拓したのは丹原町出身の祖父の代で、実家に墓参。好古校長に勧められて北海道援農をした北予中卒業生の体験談(展示)に関心を寄せられる。
- 2/12 (日) 3年前にも愛媛マラソンを終えて来訪した若者が二人。以前案内し親しくなった研究員2人も生誕地で迎える。30歳になった広島のMさんは結婚し、奥さん(同じ福祉関係)と1歳の息子と一緒に。タイムは3h31min。もう一人のNさんは、3h56min。関西の大学講師で、環境経済学論文の話をしてくれる。

B. 家族で

○熟年夫婦

- 4/ 5 (火) 東京から下町の夫75歳、妻71歳、「もう最後だろう」と秋山生誕地に来る。妻の父母が大洲、13回忌の里帰りの帰り。「きてよかった」と。かつて銀座7丁目の新田ビルの近くの8丁目でパン屋を営んでいた由。
- 10/ 4 (火) ローマで「坂の上の雲を」読み、「いつか来たくて今回初めて四国に来ました」という、熟年の奥様。眞之は何でなくなったのかと。理由を聞いて「今ならなおるわよ!」と旦那に。縁側の写真の好古が、糖尿病で11月に亡くなったという話には、「私も完治しないとされた」「つとめて普通に生活しています」…と。

現在は八王子にお住まい。夫婦で2回訪ねた昭和天皇陵は「随分広いところです」。昭和22年秋田生まれの夫人は、昭和18年に長野で生まれた夫に食べられなかった時代の話聞いて、「終戦直後の貧窮は体験としてわからないんですよ」と、笑う。

帰りは、高松からのレンタカーで、子規堂へと向かわれた。

○親子・三世代家族・兄弟姉妹

- 3 /26 (日) 横浜よりの母娘(40代と20代)、眞之の海兵卒業時の展示を観て、母方の曾祖父(福井藩士出身)も眞之と同期(17期)であったと、そのT氏の写真をスマホで見せて下さる。エルトゥールル号事件の時も、トルコへ行った由。眞之と同じ軍艦「比叡」であったかはわからないが、コンスタンチノーブルに着いた眞之が子規に宛てた「世界は広くして余程狭く御座候」という賀状に、曾祖父の航海を感じ取った様子であった。

5/2 (月) 福山の祖母と父母、東京の娘夫婦と一緒に5人家族で来訪。娘は5年前もここにきて、「おかげで上智英文学部に通りました」と。夫は韓国人の青年。近代に「韓国もいろいろやろうとしたができなかった。」 好古校長時代の北豫中学生が朝鮮に修学旅行した時の感想文(展示記事)と一緒に静かに読まれた。

8/6 (土) 祖父と中年2人と若者5人のSさん一族。91歳の祖父は、松山中学1年の時、山に在った時のこの道場で授業をした。「建物観ると懐かしい!」。昭和21年のことだった。

C ○ 青年友達同士 ○ 職場仲間 ○ 同級生仲間

10/2 (日) 9時半、開館前だったが、よかったらどうぞと、お声掛けした60代の3人、夫婦とその友人は北海道は幕別町から!——幕別町は好古が校長時代の夏休みに毎年働きに行っていた所で、親友新田長次郎が柏の原生林から開いた町——好古さんの事、大いに伝えると「ご縁があったのね」と奥様。3人とも幕別小、幕別中学、そして柏葉(はくよう)高校卒。友人は今も幕別町で、新田牧場や新田ベニヤの事は小学校で習ったと。五輪スケート選手、高樹姉妹の里である。

D ○ 一人で: 老若男女 人生の区切りに ・卒業・就職・転職・家族の縁など

5/11 (水) 「常盤会というのは、子規の入っていたところか?」と尋ねた70代後半の男性は旧真砂町と同じ区内の人。そこに常盤会寄宿舎を創った旧松山藩主久松伯爵家は、松山や青年の支援のためなら財産を惜しまなかった事を案内すると、なんと氏は先だって東京の「久松さん」から連絡を受けたばかりとのこと。旧松山藩中屋敷の跡地のイタリア大使館庭園の事と、イタリアに10年間貿易関係で勤務していた氏との御縁に依るものであった。

11/12 (土) 奈良からの大学院青年、教員志望か。帰り際に好古校長訓話を差し上げると「これが欲しかったんですよ!」と歓ばれる。展示中の校長訓話を読んで思っていた由。

2/25 (土) 愛大農学部の受験に息子がというお父さん、垂水キャンパスから歩いて来訪。香川の四電の方で、道場に上がると、「おごそかに感じます、仕事もこんなに身を引きしめてやらなイカンナと思います。普段は仕事に追われて…」と。息子は「坊っちゃん」が好きで、何回も読んだ由。

E ○ 四国遍路の時に

5/6 (金) 杖の包みを堤げ、門前に立つ熟年男性。4.28に高知から40番観自在寺に入って昨日53番円明寺を終え、1日余ったのでと来訪。北海道出身で、今は東京で空港の仕事。30代の時に坂雲を読み、夜寝るのも惜しんで読破した。

はじめ受付時、パンフの地図で「戒田のお風呂屋さん」と「花火仲間の櫻井さん」の家を示す。するとしばらく動かず、開口一番、「好古さんが校長になったという学校はどこですか?」と問う。縁側の地図の処に案内。好古さんの単身赴任の理由(戦死した部下たちの供養)を聞いた後、涙を浮かべられた様子。次回は1.2年後、今治の延命寺から打つ由。

(4) 行事

① 秋山好古生誕 164 年祭 ——令和 5 年 1 月 9 日 (月・成人の日)

9:30~10:40 式典 (秋山兄弟生誕地の武道場)

10:45~12:00 餅つき 並 日本カンボジア親善柔道合同稽古

過去 2 年の好古祭は、コロナ禍の下で延期し、3 月の眞之誕生日に兄弟合同の生誕祭を式典のみ県内参加者で縮小実施してきた。しかし当年度後期はウィドゥコロナも新段階に入ったため、好古の誕生日 1 月 7 日に合わせ、県外からの参加者も招いて感染防止に努めつつ実施した。

好古は、軍務を果たすいっぽう、常盤会寄宿舎監督を鳴雪から引継ぎ、また晩年は北予中学校長と松山同郷会(弟眞之たち創立の青少年錬成道場)の会長を死の年 71 歳まで務める等、常に故郷青年の育英のために実践躬行した。そうした好古の志にふさわしい式典をと、下記のような方々が参加協力下さり、天に奉納することができた。

第 1 部 【式典】

一別紙 3 秋山好古生誕祭の様子

1、開式の辞

2、国歌君が代 独唱 二宮慶太郎さん 令和元年度松山盲学校卒業時に常盤同郷会賞受賞

3、理事長挨拶

4、来賓祝辞・挨拶

- ① 愛媛県知事代理 県観光スポーツ文化部 スポーツ局長 神原浩司 様
- ② 松山市長代理 松山市坂の上の雲まちづくり部長 家串正治 様
- ③ 秋山好古曾孫 (東京都 故秋山哲兒氏長男) 秋山 健 様

5、記念スピーチ

- ① 常盤同郷会賞受賞者(松山南高校 令和 3 年度卒業時に受賞:現大学生) 大西七緒さん
- ② 常盤学舎 元寮長(平成 24 年入寮 早稲田大学卒:現社会人) 渡辺運也さん

6、来賓紹介(祝辞を頂いた方以外)

- 好古曾孫 秋山 真 様(東京都 故秋山哲兒氏二男)
- 眞之親友山下亀三郎の宇和島山下家当主 山下重蔵 様
- 松山商工会議所会頭代理・事務局長 中矢 斉様
- 元カンボジア大使 小川郷太郎 様
- 坂の上の雲ミュージアム総館長 松本啓治 様
- ロシア兵墓地保存会長 菅田 顕 様
- 松山市教育研修センター事務局長 光岡葉子 様
- 東雲中学・高等学校 校長 染田祥孝 様
- 松山東高等学校 校長 和田真志 様
- 松山北高等学校 校長 友澤義弘 様
- 松山南高等学校 校長 池田哲也 様
- 松山市立勝山中学校 校長 渡部ゆかり 様
- 松山市立椿中学校 校長 金本茂樹 様
- (一財)豫山会理事長代理 理事 稲田 悟 様
- 歩行町 2 丁目町内会長 竹田進一郎 様
- 松山市議員 田坂信一 様

・参列者は、他に、コンソーシアム明治松山代表谷川彰子様ほか上記の関係者や、好古揮毫掛軸寄贈者 松岡紀雄様 東洋建設愛媛営業所所長穴田剛士様ほか 常盤同郷会 役員 14 名、柔道部・合気道部 指導者並びに小中学生

7、稽古始め奉納 ——すべてマスク着用

① 鏡割り

② 柔道 カンボジアナショナルチーム代表選手「^{きめ}極^{かた}の形」演武

③ 合気道 東雲小学校ほか小中学生 12 人演武

第 2 部 【日本・カンボジア親善 柔道合同稽古】

- ・常盤同郷会柔道部の小中学生とカンボジア選手 7 人・ウクライナ選手 2 人との乱取り他

(生家の庭で) 【餅つき大会】 すべてマスク着用

- ・子供たちが主として杵つき役
- ・搗き立て餅 5 個入り袋を配布のみ

② **秋山真之生誕 155 年祭** ——令和 5 年 3 月 21 日（火・春分の日）

9：30～10：35 式典（秋山兄弟生誕地の武道場）
10：45～12：00 茶会並びに 箏曲演奏

慶応 4 年 3 月 20 日に生誕した秋山真之は、海軍大学や日本海において国防の使命を果たすと同時に、明治 21 年、海軍兵学校在学中に在京の同郷有志と図って「松山同郷会」を創設、青少年育英に助力し続けた。その志に添い、下記の方々の参加行事等を以て、生誕 155 年を祝った。

式典の後は、今の時代への静かな励みとなることを願い、参加者と共に真之の生涯を偲び、青少年の琴の音と共に清寂の一服を戴いた。

第 1 部 **【式典】**

—別紙 4・秋山真之生誕祭の様子

- 1、開式の辞
- 2、国歌君が代 独唱 平岡遼太朗さん（松山東高校合唱部員）
- 3、理事長挨拶 山崎 薫
- 4、来賓祝辞・挨拶
 - ① 愛媛県知事代理 県観光スポーツ文化局 文化局長 山中美幸 様
 - ② 松山市長代理 松山市坂の上の雲ミュージアム館長 石丸耕一 様
 - ③ 真之親友山下亀三郎翁令孫 山下洋二郎 様（東京都）
 - ④ 秋山真之令孫 青山 芳之 様（東京都）
- 5、献茶（真之像へ） 伊豫売茶流天山会 岩田天山 様
- 6、真之の和歌に寄せて一詩舞：二宮大翔さん福田妃菜さん（松山北高吟詠剣詩舞部）
吟詠：塚本康江 様
- 7、元海上自衛隊幹部学校校長 記念スピーチ 牧本信近 様（元海将 神奈川より）
（生誕地の真之像製作の時にお世話になった）
- 8、来賓紹介（ここまで祝辞等を頂いた方以外）
 - 松山市子規記念博物館 総館長 竹田美喜 様
 - 坂の上の雲ミュージアム総館長 松本啓治 様
 - 松山子規会 会長 烏谷照雄 様
 - 松山東高等学校 校長 和田真志 様
 - 松山北高等学校 校長 友澤義弘 様
 - 吉田高等学校 校長 村井浩昭 様
 - 松山市教育研修センター事務局長 光岡葉子 様
 - 松山市立東雲小学校 校長 西岡香恵 様
 - 株愛媛経済レポート社長行定千織様
 - 愛媛県防衛協会事務局長 折戸善彦 様
 - 歩行町二丁目町内会長 竹田進一郎 様
- ・参列者は、他に、吉田山下家当主山下重蔵様ほか東京より山下亀三郎翁子孫関係者、コンソーシアム明治松山統括責任者近藤正純様
伊豫売茶流天山会会員、正派邦楽会 佐川雅貴社中ほか上記関係者や、下記高校出場者ご家族
ほか青少年 柔道部・合気道部員 常盤学舎 OB もと北高郷土研究部、東高教諭
当 常盤同郷会 役員 16 名、 **合計 90 人**
- 9、常盤同郷会賞受賞者スピーチ 玉井 咲哉さん（本年度松山盲学校卒）
- 10、献奏（箏曲演奏） 正派邦楽会 佐川雅貴社中 永田優月さん（東雲高校生）

第 2 部 **【茶会並びに 箏曲演奏】**

- （道場） 茶会 伊豫売茶流天山会：煎茶（立礼式・来賓第 1 席 30 分）
- （舞台） 箏曲演奏 正派邦楽会佐川雅貴社中：青少年の演奏
（三々五々解散） ——14:00 頃終了

(5) 入館者対策

① 広報宣伝

- 1) 各種旅行雑誌の記事更新、マスコミの取材依頼に対応
- 2) 優待割引券(250円に割引)を印刷更新-5000枚 60,000円 株SPC
逐次配布 坂の上の雲ミュージアム 200枚
松山城観光案内所 100枚
愛媛観光物産館ほか
- 3) 松山ミュージアム・ストリート連絡協議会(10館)共同制作のガイド(優待クーポン付)
1000部を来場客に配布・対応。3館以上来訪者へ記念品—当館は秋山兄弟語録—を贈る。

② 市内高校、中学、小学校への見学誘致活動(松山市教育委員会へも要請)

「ふるさと松山学」を重視する松山市教育研修センターとの連携

③ 好古や眞之生誕祭等の諸行事を通じて松山市民への啓蒙と生誕地のアピールを図る。

④ 研究員によるボランティア案内の充実

1) 研修会

- 4/4(日)の当番以来10月上旬までボランティア案内休止の為研修会も開かず
- 12.5(月)研修会・大掃除 参加者11名
 - ・ウィズコロナの秋山兄弟生誕地の案内方法について
 - ・来年度休館日 その他
 - ・終了後大掃除

⑤ 秋山兄弟生誕地の研究員(ボランティアスタッフ)募集 後継者の育成

1) 広告

- 10/15 募集のチラシ完成 設置場所・秋山兄弟生誕地・県立図書館愛媛資料室
・坂の上の雲ミュージアム・愛大ミュージアムほか
- 10/28 南海放送 ラジオ「合田みゆきのニュースな時間」の中で案内
17時半頃の10分間 理事長が生出演
- 11/1 松山市広報 11月1日号「市民ガイド」に広告記事
- 11/1 松山商工会議所所報 11月号 「施策情報掲示板」に広告記事

2) 応募者採用

- 11月 4人が応募、随時面接、研修
- 12月から3人を研究員として採用—研修及びボランティア案内に参加
 - ・三好里美 (S28年生)
 - ・河野ツヤ子 (S33年生)
 - ・もう1名は2月に退任

(6) 人物博物館としての史料収集・調査研究・展示

○新規保有資料(常盤同郷会所蔵)

① 4/3 松岡 紀雄 氏(松山市築山町在住) 寄贈

秋山好古揮毫の掛け軸『静以安人』

静 以て人を安んず

- ・4/10 生家床の間の掛け軸とする。

これまでの好古揮毫「人事有憂楽 山光無古今」は、掛け替えて書庫に保存



② 12/13 高橋 恒治 氏 (埼玉県草加市在住) 寄贈

高橋倉松著 『征露日誌』(日露戦中の軍隊手帳)

○著者: 寄贈者の祖父

黒溝台会戦時、秋山支隊に属する弘前騎兵第八連隊下士

○内容: 1904年10.27出征~1905年3.11青森帰還までの陣中日誌

例)「1月23日 終日衛兵午後五時交代 同時 秋山少将並ニ幕僚 宿営地ニ来リ
連隊本部ニ宿営ス」

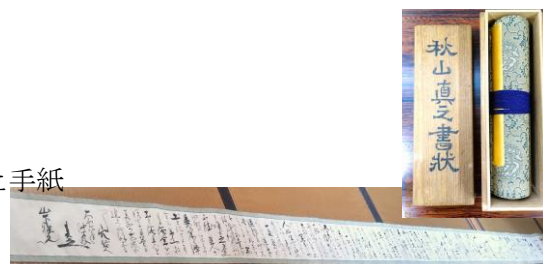


③ 1/27 山下 重蔵氏 (宇和島市吉田町在住) 寄贈

山下亀三郎宛秋山眞之書状

○内容: 秋山眞之が親友である山下亀三郎に寄せた手紙

○時期: 大正6年(1917)5月…眞之没9か月前



(7) 施設及び庭の保全、修理

○5/30 セキュリティー動画モニターの故障 接触不良のため無料修理 (セキュリティー愛媛)

○9/27 庭木剪定 55,800円 (愛媛庭園)

防除剤散布は、上半期は見送り

○普段の清掃・管理—研究員ほかのボランティア

4、公益事業 (公3) 青少年育英のための学生寮(常盤学舎)

(1) 在寮生の推移 (定員 27人)

① 年度始め (2022年4月) の在寮生 14人

—○ 内新入寮生=2人 前年度途中再入寮生 1人

○ 新入寮者出身高校 東高 (慶応大卒後、専門学校入学)、丹原高

○ 通学校 都内13の大学・大学院・専門学校

② 年度途中の退寮・入寮生

○ 退寮3人—理由 1) アルバイト時間の確保と通学時間の短縮を図るため

2) 団体生活に馴染めない、単独でアパート生活を送りたい

3) 同級生3人が卒業(本人大学3年)し、本人の起業のため

③ 年度末 (令和5年3月) の卒業退寮者 4人

大学院2年卒1人 - 鈴木 →IT企業(東京)

大学4年卒2人 - 巽 →医療センター技師(東京)

夷子 →製造販売会社営業部(東京支社)

専門学校卒1人 - 大石 →大手リサイクルショップ(東京)

④ 令和5年度への応募者9人・入試に合格決定の新入寮生1人— (R5年3.31現在)

令和5年度は、在寮生8人でスタートとなる。

(R3年度へ応募者9人新入寮生6人・前年度途中入寮2人 19人でスタート

(R4年度へ応募者8人新入寮生2人・前年度途中入寮1人 14人でスタート)

—別紙5「寮生名簿」

(2) 寮生の生活と活動

① 通学状況とコロナ感染対策

1) 複数人が感染し全員が自室療養(軽症)

令和4年2月、寮で初の感染者を出して以来、今年度に入って4月に2人、7月に1人、令和5年2月に1人がそれぞれ感染した。なお、感染元は不明で感染者全員が高熱を出したものの、発熱から2日後には平熱に戻り規定の療養期間を無事に終えた。

2) 感染拡大を招いた「オミクロン株禍」での通学状況

大学の授業体制は、前年度に比べて対面授業のみの大学が増えた事が一番大きな変化である。これにより当然ながら日中の在寮生が非常に少なくなってきた。

なお、オンライン授業のみで令和2年4月に大学入学以降、一度も上京していなかった寮生も本年度8月下旬から9月上旬にかけての「教育実習」で初めて入寮を果たした。その後(秋学期)も大学側が対面授業へと体制を変更したことに伴い、完全に寮生活の環境が整った。

3) 「寮生会」以外の諸行事の中止継続

寮祭、名所旧跡巡り、成人を祝う餅つき、遠足、野球大会参加等を昨年度に引続き中止。なお、月に一度開催の「寮生会」は、コロナ禍に入って一時中止していたが、昨年度に引き続き継続開催し「寮生活の反省と当面の計画等」を活発に討議している。また、寮生会終了後には食事会・懇親会・講演会等を開いて親交や見識を深め合っている。

4) 防疫状況

前年度に引き続き、玄関に「マスク・手指消毒液」、一階ロビーや各階キッチン・トイレに「手指消毒液」をそれぞれ常備して感染症対策を施している。

なお、3月13日からマスクの着脱が「個人の判断」になったことに伴い、同日から玄関に置いていた「マスク」は撤去して、以降は個人購入の措置とした。

5) 寮生の生活現況

寮生の生活はコロナ禍以前の状況に戻ったとは言い難いものの、平日にはアルバイト活動やライブ、スポーツ観戦等の機会が増え、また、休日には買物や映画鑑賞等々を楽しむ寮生が増えている。

② 年間行事(寮生会他)

- 4/24(日)に開催予定であった寮生会及び新入寮生歓迎会はコロナウィルス感染者2人が療養期間中であったことから中止とし歓迎会は延期とした。

寮生会」は寮生全員が集うもので、毎月開催し、寮長の主導する議事では「寮生活の反省と当面の計画等」を討議している。また、議事後は、料理等を囲み懇談や寮生が講師となって得意分野の講演等を行い、識見や親交を深め合う場としている。

○ 5/19 (木)P7:00~P7:25—参加者 7 人で寮生会を開催

都内でコロナウィルス感染症が拡大していることから短時間で寮生会を終了した。
当日の主な討議は「新役員選出」であった。

新役員 寮長 池田 丈太郎・増田 敦也
文化委員 夷子 康平
ネット委員 巽 碧登

○ 6/19(木)P7:15~P8:00—参加者 9 人で寮生会を開催

舎監指示で寮生会の開催趣旨を説明したうえで、必ず参加するように促した。なお
当日も都内でのコロナ感染症の感染拡大状況から寮生会を短時間で終了した。

○ 7/7(木)P7:00~P8:00—参加者 8 人で寮生会を実施

寮生会開催直前にコロナウィルス感染者が出て自室療養となった。寮員に対して手指
消毒の徹底を図ることともに、感染者は療養期間中の風呂・トイレ等は舎監室を利用する
ことを再認識させた。なお、当日に実施予定であった新入寮生・越智蒼真君の講演会は
寮内感染者が出たため延期した。

○ 9/21(水) P7:00~P8:30—参加者 8 人で寮生会を開催

寮生が激減している状況に対して、舎監が寮生に寮生勧誘を促した。——「先月及び今
月とで 2 人の退寮者が出た。これで寮生は 12 人となり寂しい限り。皆さんの親族や後輩
で東京所在の大学受験を考えている人がいたら、是非、常盤学舎を勧めてほしい。皆さん
の生活実態や感想を素直に伝えて頂けたら」と。

○ 10/11(火) 松山の本部から理事長が来寮。

待っていた寮生と、丁度帰寮した寮生 4 人が理事長と舎監室で懇談 (鈴木・谷口・夷
子・池田)。その後理事長は、本人の快諾のもとに寮生部屋(308 号室 鈴木)や、各階ミニ
キッチン、屋上、高木伐採後の南庭等を巡視した。

○ 10/13(火) P7:00~P8:30—参加者 9 人で寮生会を開催

11 日に理事長が来寮した時の状況を伝えるとともに、理事長の「寮内外の整理整頓に
感謝致します。会えなかった寮生とも、次の機会を楽しみにしています。」との言葉を伝
えた。

その後、講演会を実施——国学院大学 池田 丈太郎
演題 神道について(続編)

○ 11/17 (木) P7:00~P8:30—参加者 10 人で寮生会を開催

10.15 に東予学舎で開催された 都内愛媛県 4 寮の合同会議「四舎会」の開催内容を
示達した。その議題は、・寮の運営と寮生募集活動についてと、・コロナウィルス感染症へ
の対策について であった。

舎監は寮生に対して、常盤学舎に居住する学生としてあるべき姿を訴えた。——「他の
愛媛県寮も同じだが、伝統と歴史のある常盤学舎は周知のとおり公益財団法人の認定を
受けている。同法人は税制上の優遇措置を受けていることから公益性が高く、信頼される
法人であることが強く求められている。皆さんは、その法人が運営する施設で生活してい
ることを常に自覚して行動して貰いたい」

その後、講演会を実施——中央大学大学院 鈴木 悠立
演題 論理的思考について

- 12/ 18(日) A9:00~P1:00—参加者 8 人で大掃除・寮生会を実施

午前中 3 時間かけて寮内の大掃除をし、P0:00 から昼食を兼ねて寮生会を実施。舎監から、「正月の帰省時に寮生の勧誘依頼(募集ビラ利用)」「秋山好古生誕 164 年祭の案内」「成人を祝う餅つきの中止」等について指示した。

その後、講演会を実施——東京学芸大学 3 年 相原 礼仁

演題 ウガンダフィールドワークについて

- 1/19 (木) 予定の寮生会は、寮生 1 人のコロナウィルス感染と、都内での第 8 波の感染拡大に鑑み中止措置とした。

- 2/ 16 (木) P7:00~P8:30—参加者 8 人で寮生会を開催

電気の節約について舎監より指示——この 1 ケ月の電気使用料金が着任してから最も高額で約 23 万円(寮員数 11 人)であった。この金額は寮費の大部分を占めている。ちなみに昨年の同時期の電気料金は寮員数 15 人で 17 万円であった。この差の最大要因は電気代の高騰であり、今後政府の援助もあるが、東電はその援助分並みの値上げをさらに予定している。寒さには電気は必須だが共用場所での節電を徹底してほしい。

入寮希望者の寮見学が 3 件(受験生 2 人・保護者のみ 1 人)あったものの、「大学近くにアパートを借りた」「志望校受験に失敗して浪人」「都内私大不合格で関西の国立大に進学予定」等の理由により、それぞれ残念ながら当学舎への入寮は実現しなかった。

- 3 月 9 日(木) P7:00~P9:00—参加者 7 人で寮生会・送別会を開催

寮生会では寮長から「新入寮生に迎える心構えについて」と「4 月寮生会で新役員の選出」の指示があった。

なお、舎監からは「退寮生に対する感謝とお祝いの言葉」が告げられ、また、この一年間、寮役員を務めた各寮員に対してそれぞれ「感謝の言葉」が告げられた。

寮生会終了後に「退寮者送別会」が行われ、退寮者からそれぞれ退寮にあたっての挨拶を貰い、その後、在寮生各人からの感謝の言葉があった。

なお、在寮生からの記念品贈呈は後日に行われた。

新年度の寮生募集チラシ(松山南高校砥部分校デザイン科作成)に対する寮生の意見を集約し、本部へ報告した。

(3) 入寮生募集活動

- ① 令和 5 年度用寮生募集数=15 人

(定員 27 人 退寮予定者 5 人+オンライン授業により未入室者の部屋を除いた現空き部屋 20)

- ② 応募状況 5.24 (1 人目) ~2.17 (9 人目)

- ③ 募集活動

1) 5 月に令和 5 年度募集チラシを印刷。2000 枚用意——同月より中予地区 15 校の進路指導教諭等に、持参して勧誘。

2) 東、中、南予の進学校 35 校 (県立 30 校、私立 5 校) に、校長宛勧誘文とチラシを送付

3) 松山南高校砥部分校デザイン科に令和 6 年度入寮生募集チラシのデザインを依頼

○7/12 砥部分校 宮内俊博分校長に募集チラシ用の写真データ、必要情報等を送信

○3/2 募集チラシ第 1 案が届く。常盤学舎寮生会の意見等を踏まえ修正案を依頼
(5/15 修正完了)

4) ハウスメイトの Web マガジンに常盤学舎案内記事掲載

○6.29 常盤学舎を広くスマホで紹介する方法を探るため、理事長と平松理事、(株)ハウスメイトマネジメント松山支店の西村支店長等 5 名が会談。

8.3 東京の(株)ハウスメイトパートナーズの担当者が常盤学舎を取材 (三井久嗣氏)

→

○9.12 Webマガジン「マツイマ」(松山市とハウスメイトの連携協定による情報発信サイト)に、「愛媛県人男子寮『常盤学舎』(東京)」の記事が以後 3 回に渡り連載される。
この日、第 1 回—後藤舎監へのインタビュー、常盤学舎の歴史、特色など

9.20 マツイマ!インタビュー 第 2 回 — 寮生の生活の様子

10.12 マツイマ!インタビュー 第 3 回 — メリット

5) 松山市「広報まつやま」(1 月 1 日号)に募集記事掲載

6) 常盤学舎の寮生等による募集活動

○ 舎監による帰省寮生に対する知人・後輩等への勧誘活動指示(9・12 月寮生会)

○ 寮生による帰省時の後輩勧誘活動と母校訪問(8 月・1 月)

○ 入寮希望者(保護者等を含む)の寮見学時の対応で勧誘促進(寮生の案内)

(4) 設備営繕

5.10 消防用設備点検	88,000 円 (株式会社カナメ商事)
5.10 消火用貯水槽バルブ弁交換工事	107,800 円 (久留米設備工業株式会社)
9.12 ユリの木伐採	400,000 円 (松村園芸株式会社)
1.26 1 階洗濯場の水道蛇口交換	7,700 円 (久留米設備工業株式会社)
2.12 408 号室エアコン洗浄	<u>8,800 円 (株式会社丸ト)</u>
	計 612,300 円

(5) 秋山好古生誕祭式典において常盤学舎 元寮長 記念スピーチ

1.9 常盤学舎 元寮長 (平成 24 年入寮 早稲田大学卒: 現社会人) 渡辺運也

5 収益事業

(1) (収1) 生誕地売店

現行販売品目：

○土産

お土産品	単価/ (内部価格)	販売数	
		令和4年度	昨年度
1. 秋山兄弟煎餅袋	360/ (280)	72	25
2. 秋山兄弟煎餅箱	650/ (480)	130	21
3. 好古手拭い (天地無私)	400	83	39
4. 眞之手拭い (熟慮断行)	400	86	54
5. ハンカチ (天地無私)	500	61	22
6. ハンカチ (熟慮断行)	500	68	22
7. ストラップ 長型	500	21	11

○常盤同郷会発行冊子

冊子	単価	販売部数	
		令和4年度	昨年度
1. 「好古揮毫石碑写真集」	3,000	4 (10月在庫切)	5
2. 「子規と漱石と常盤会寄宿舍」	200	19	8
3. 「ひとびとの好古」	200	23	12

(2) (収2) 常盤学舎敷地内の駐車場賃貸

○契約6台可能の駐車場は、現在満車。@12,000円

○管理業者 東久留米市 株式会社小暮工務店

○支払方法=当月分を月末に集金し翌月5日までに当財団に手数料(月額5000円)を差引いて送金

6 稟議事項実施案件

1件10万円以上の支出 (単位:円、税込)

決裁日		稟議 番号	件名	金額(円) 税込	支払先
月	日				
6	15	4-1	常盤学舎南庭高木伐採 ユリノキ	400,000	松村園芸(株)